

弊社は、1978年に地域密着型の警備会社「システムガードサービス株式会社」を埼玉県さいたま市に創業し、これまで警備業界一筋で歩んできました。

「警備会社はもともと、『安心安全を売る、お客様の生命と財産を守る』という理念があります。徐々に業界が大きくなるにつれ、昨今では再就職の受け皿産業になっている傾向があります。誤解を恐れずに言うと、誰でもできる産業に成り下がりつつあるので、これを何とかしたいと思ってきました。警備業には先ほど述べた崇高な理念があるので、もっと社会的地位を上げたいのです。『非効率』や『3K』というマイナスイメージも払拭していきたいですし、子どもたちの『夢の職業ランキング』に警備業がランクインするように仕向けたいという思いを持っています。しかし、なかなか業界自体に硬直性があることも事実です。そこで、まずは警備業の未来を変えるため『警備ログ』をシステムガードサービスとは別に立ち上げました」

このように思うきっかけとなったのが SDGs（持続可能な開発目標）を知り、次第に SDGs が業界を発展させる一つの突破口になると考えました。

「業界の底上げや社会的地位を挙げるために、SDGs の 17 目標のうち、警備業ではどこへアプローチできるのかを考えました。警備業界は制服を着用する業界なので、システムガードサービスと提携している警備服業者（高宮）に警備服はリサイクル可能かどうか聞いてみたのが始まりです。制服は汗などで白くなり、汚れが発生しやすいのです。かといって、会社のブランドやイメージを維持するために劣化したものを使い続けるわけにはいきません。そのため、定期的に新品に交換しているという現状です。警備業界は安全と安心を守るだけでなく環境も守る産業として、もっといえば SDGs に一番力を入れている産業として、業界全体の底上げを図りたいと考えるに至りました」

具体的な活動としまして

1. 高宮や提携物流会社と協力し、使用後の劣化した警備服を警備会社から無料で回収する。
 2. 回収した警備服を提携リサイクル企業の工場では、BHET、そして PET ペレットに形を変え、糸・生地加工され新たな製品に生まれ変わる。
 3. 持田繊維や高宮と協働し、再生ポリエステルを使った警備服を販売する。
- 上記の流れで、警備会社から出る廃棄物（警備服）をゼロに、そして制服から制服を作り出すサーキュラーエコノミーユニフォームを警備業界へ展開しております。

株式会社サムライトレーディング様とは、同じ SDGs の理念を共有し弊社でも CaMISHELL の名刺を導入させて頂き、社会的な貢献はもちろんのこと、弊社では SDGs の普及活動の一環として、様々な企業様との名刺交換の際に、どの企業様でも SDGs に取り組める具体例として説明させて頂いております。